

(2027年度～) IPA試験制度の見直しについてのご案内

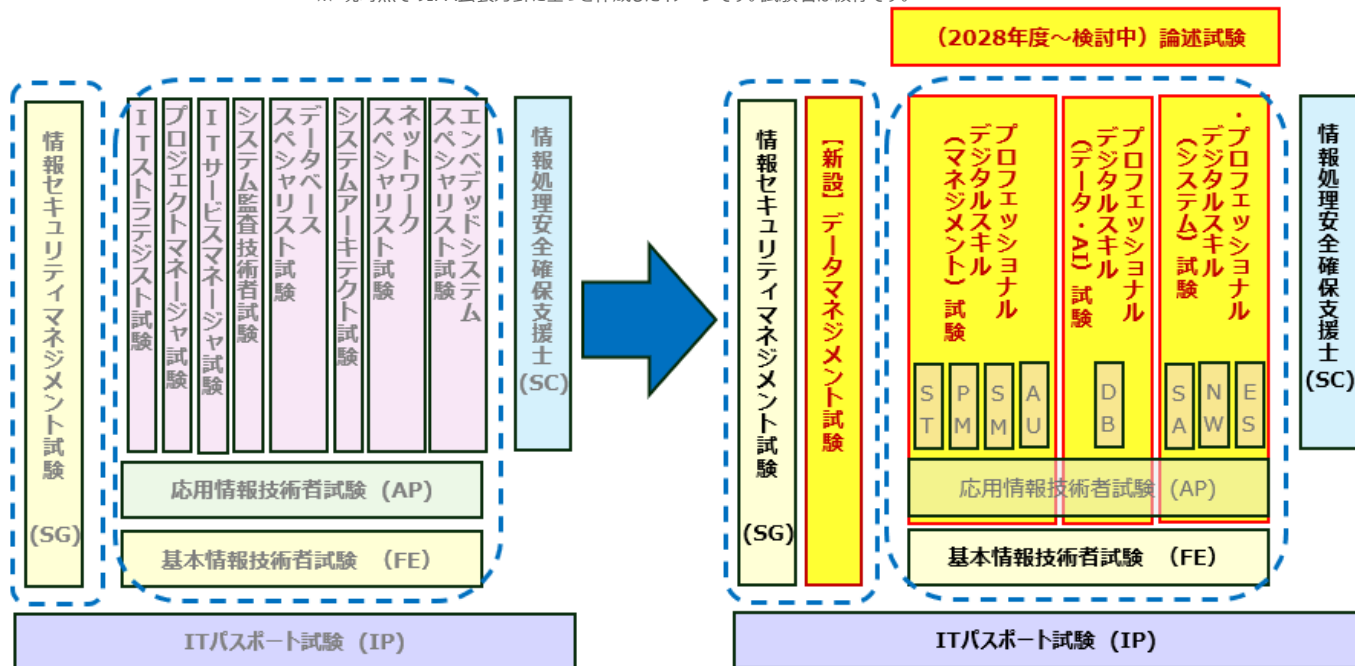
IPAの情報処理技術者試験(※1)は、2027年度から試験制度が大きく見直されます。
「データマネジメント試験」の新設や、高度区分の統合などが行われる予定です。
AI・データ活用時代に対応した人材育成を目的とした見直しとなります。
IPA・経済産業省から発表された最新情報(※2)を基に、ポイントを整理いたしました。

※1 情報処理安全確保支援士試験を含み、「情報処理技術者試験」と総称しています。

※2 本チラシの内容は、2026年3月31日発表の情報に基づいており、今後変更となる可能性があります。

IPA試験制度見直しのイメージ (2027年度～)

※ 現時点でのIPA公表方針に基づき作成したイメージです。試験名は仮称です。



※出題形式：

高度試験、情報処理安全確保支援士試験は
多肢選択式・記述式・論述式試験

※出題形式：

論述試験を除き、多肢選択式に統一

- Point① 「データマネジメント試験」(仮称)の新設
AI活用において求められる、データを活用可能な状態に整備・管理するスキルを評価する試験として新設。
幅広いビジネスパーソンが対象で、ITパスポート試験の次のステップの試験となります。
- Point② 「プロフェッショナルデジタルスキル試験」(仮称)の新設
現行の「応用情報技術者試験」と「高度試験」が大括り化された上で内容が再編され、
幅広いスキル習得を目的に3つの試験区分として新設されます。
- Point③ 「論述試験」を除き、「多肢選択式」に統一
出題形式は、2028年以降の実施が検討されている論述試験を除き、全て「多肢選択式」となります。

基本情報技術者など、他の試験においても、2027年度以降、出題範囲や試験時間の変更がございます。
詳しくは以下のサイトにてご確認ください。

出典:「情報処理技術者試験及び情報処理安全確保支援士試験の見直しの検討状況について」(IPA独立行政法人情報処理推進機構)

<https://www.ipa.go.jp/shiken/syllabus/henkou/2025/20260331.html>

情報処理技術者試験における試験区分体系などの見直し(案)について(経済産業省)

<https://www.meti.go.jp/press/2025/03/20260331003/20260331003.html>

今後もアイテックでは、試験の最新情報を書店様にお届けしてまいります。
試験変更に関わる書籍のご相談についても、お電話・Emailにてお気軽にご連絡ください。